

福浜議員 要望項目一覧

令和4年度5月補正分

要望項目	左に対する対応方針等
<p>(1) 超円安の是正に向けて</p> <p>日米の金利差拡大を要因とした超円安とウクライナ情勢も影響して、資材やエネルギー価格の高騰等により、本県の中小企業、一次産業においても深刻な事態を迎える中、県民生活も極めて厳しい状況に陥り、消費マインドを冷え込ませる懸念も指摘されています。県におかれましては、地元経済の現状を強く訴え、超円安の是正に向けて政府に働きかけて頂きますよう要望します。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染抑制と社会経済回復の両立を図る必要があるが、今般の国際情勢を背景に原油価格や資材価格などが高い水準で推移していることに加え、急激な円安の進行による輸入物価の上昇についても県民生活に大きな影響を与えており、迅速かつ機動的に対処するための「総合緊急対策」を実行する。</p> <p>その上で、急激な円安の進行は輸入コストの上昇等をもたらすことから、地域経済においても為替の安定は非常に重要な要素であることも踏まえ、全国知事会等を通じて、地域を支える中小企業、一次産業等の現状に即した支援強化を国に求めていく。</p>
<p>(2) 新型コロナウイルス関連</p> <p>県版「警報」の発令指標が改訂され、病床使用率もエリア毎に毎日更新されている等の効果で、県民や事業者の過度な自粛マインドの抑制につながり、withコロナの実践にシフトチェンジされつつあると高く評価しております。</p> <p>その中で、県設置保健所管内の陽性者に関する毎日の資料提供において、感染拡大リスクを占う「経路不明者」の数字（既陽性者との接触の有無）が、中部と西部の合算で発表されているため、エリア毎のリスク判断が出来ません。分けて発表していただくよう要望します。</p>	<p>毎日公表している「既陽性者との接触」情報については、地域ごとの感染リスク判断に資するよう、中部と西部に分けた公表について見直しを検討する。</p>
<p>(3) 起業マインド育成に向けて</p> <p>起業家を育成するスタートアップ事業については、本県でも商工労働部を中心に力を入れておられ、その重要性は言うまでもありませんが、先日（4月29日（金）～5月1日（日））、鳥取砂丘のSAND BOXで開催されたスタートアップ事業には、参加者60名の2割を現役高校生が占め、自らの発案に対し、専門スタッフから手厳しい指摘を受けてプランを徹夜で修正するなど、「学び」を「生かす」観点からも極めて重要な機会になったように感じました。</p> <p>ただ、参加した現役高校生は「私学」に通う高校生が大多数で、県立高校の生徒の参加は皆無に等しい状況でした。そこで、後援に「鳥取県」と「県教委」も加わり、県立高校の生徒に開催チラシを配布したり、東部だけではなく中部や西部でも同様のスタートアップ事業が少なくとも年1～2回程度実施できるように支援するなど、知事部局と県教委で情報共有しながら、「学校外」での社会人との「学び」の普及と定着に向けて御尽力いただくよう要望します。</p>	<p>SAND BOXでこのたび開催されたスタートアップイベントは民間事業として実施されたもので、このような民間主催の起業イベントや、商工団体、金融機関が主催する若者向けに起業マインドを育成するスタートアップ事業も近年増えており、本県にも多くの情報をいただいている。</p> <p>各県立高校へチラシやメールでの案内や校長会等を通して高校生の参加を促しており、実際に興味を抱いた生徒が参加した例もあることから、引き続き、産業界との連携を深め、十分に情報共有しながら高校生たちへの有益な機会の提供を図っていく。</p>